

## 事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	17		作成日	平成25年9月30日		
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年度	平成 24 年度事業	
	項	4	まちの将来を担う人づくり	課等名及びグループ名	学校教育課 学校教育グループ	
	節	1	豊かな人間性を育む学校教育の充実	記入者 職氏名	課長補佐 山崎 仙一	

### 【事務事業の概要】

#### I 事務事業の内容

実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事務事業名	スクールバス運行委託				
事業概要	対象	小中学校の児童生徒			
	目的	学校統合に伴い、通学に支障のある児童生徒の通学の交通手段を確保する。			
	実施内容	スクールバスを運行できる事業者へ委託し、スクールバスを運行する。			

#### II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	教育の振興		
	款	9	教育費		事業名 (施策名)	過疎地域自立促進特別事業		
	項	2・3	小学校費・中学校費					
	目	2	教育振興費					
	事業名	教育振興費			根拠法令	大子町小中学校スクールバス運行規則		

### 【事務事業の実施状況】

#### III 事業費の推移及び終期

年 度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位:千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績	37,636	1,102				36,534
平成 22 年度実績	47,051	3,261	529			43,261
平成 23 年度実績	48,578	3,208	113			45,257
平成 24 年度実績	48,600	2,217	128			46,255
平成 25 年度当初	60,735	4,371	328			56,036

特定財源 の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率
24 年度分	遠距離等児童通学費補助	1/2以内	公立小中学校適正規模化支援事業費補助	1/2以内		

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	統合となった学校の児童生徒の登下校の交通手段として、スクールバスを運行している。
------	--

V 問題点の概要

問題点	統合後5年間は国、県の補助を受けられるが、その後は町の予算により実施しなければならない。
-----	--

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対27年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
スクールバス運行回数	回	2,031	2,000	-	2,520	-	2,320	-	2,320	88%
指標に表われない効果	登下校時の安全確保にもつながる。									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	統合により遠距離通学となった児童生徒の交通手段の確保である。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	統合を推進することにより、適正な規模で教育を受けることができる。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	統合を推進することにより、適正な規模で教育を受けることができる。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	学校の統合に伴い、通学距離が長くなるため、交通手段の確保は必要である。

## II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。          統合となった学校の児童生徒の登下校の交通手段として, スクールバスを運行しており, 今後も継続する必要がある。</p>										
<p>【担当所属長意見】          小・中学校の児童生徒が適正な規模で教育を受けることができるように, 学校の統合を推進する中で, 通学手段の確保のためスクールバスを運行しており, 今後も継続する必要がある。</p>										

### ◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】          一次評価のとおり。</p>										
<p>【備考】</p>										